

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	循環型社会形成総合情報収集・集積システム構築事業費		事業開始年度	平成13年度		作成責任者
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	リサイクル推進室		室長 上田康治
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当事業費は、循環型社会形成推進基本法に基づく施策の実施状況や容器包装リサイクル法等の個別法に係る情報を統合的に整理し、地方自治体が制度を円滑に実施する際に関連する情報をきめ細かく収集し、市町村等における円滑な業務遂行、基本計画の策定、フォローアップ等に資するシステムの運用・整備を行うことを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当該システムは、環境省ネットワークの統合を踏まえ新しいシステムを構築し、運営管理を行っており、本経費は当該システムの円滑な運営管理を行うため、システムに係るメンテナンス等の運用・整備を行うための経費である。					
実施状況	適切な保守管理を実施しながら本システムを活用し、個別法関係情報の収集・集積を行うことにより、各法制度の円滑な運営を図っている。 当システムは平成20年度に設計・開発経費とともに、向こう4年間のサーバ機器等の賃貸借及び保守業務等の総額による一般競争入札(総合評価方式)を行ったところである。 当システムで調達するハードウェアについては、平成21年3月からの48ヶ月リース契約を前提としたもので、リース期間の満了する平成25年2月まで引き続き賃貸借契約を締結する予定である。 そのため、平成21年度は保守・賃貸借に必要な経費1百万円のみでの執行となり、平成22年度も1百万円の予算額とした。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	14	40	19	1	
	執行額	15	21	1		
	執行率	107%	53%	5%		
	総事業費(執行ベース)	15	21	1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施等の状況把握や不具合については、事業者との間で、電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に当省担当者との打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や達成状況を確認している。				
	見直しの余地	当システムは25年度に更新する予定であるが、23年度に環境省ネットワーク自体見直しが行われるため、それらにあわせて、システムの内容全般を見直すこととしている。				
予算監視の効率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
1百万円



【随意契約】

(株)エヌ・アンド・アイ・システムズ
1百万円

循環型社会形成総合情報収集・集積システム構築事業の機器賃貸借、システム開発及び保守等業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(株)エヌ・アンド・アイ・システムズ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム保守経費	0			
	機器借料	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0